



社団法人発明協会 第31回未来の科学の夢 絵画展 幼稚園の部 奨励賞「サッカーボールでできた自転車に乗りたい」

せいしん幼稚園「京都府京都市」西本 朝陽ちゃん

サッカーも自転車も大好き。自転車に乗りながらサッカーができればカッコいいだろうなと思いながら描きました。

HEART REPORT

第53期 中間報告書

[平成21年2月1日～平成21年7月31日]

証券コード: 7956

CONTENTS

トップインタビュー	1
事業一覧	3
特集	5
連結財務ハイライト	6
連結財務諸表	7
インフォメーション	8
株主広場	9
会社概要	10



代表取締役社長 **大越 昭夫**

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃のご支援に対しまして厚く御礼申し上げます。

さて、第2四半期累計期間における経済環境は、世界的金融危機による急速な景気後退の影響による企業収益の悪化は続いておりますが、おかげさまで、当社グループの主たる事業領域であります育児用品の分野は景気変動の影響を比較的受けにくいと考えることができます。引き続き、経営環境変化に応じた柔軟な体制で臨んでまいります。

ビジョングループは、今期を“仕込みの年”と位置づけて、施策を推進しておりますが、現在の成長セグメントである海外育児用品事業や平成19年に立ち上げた老化予防ブランド「リクーブ」をはじめとするHHC・介護用品事業、また海外事業展開のベースにもなる国内育児用品事業など、ビジョングループの成長のため、誠実、着実に仕込みを行っていくことで将来の礎を築いてまいります。

また、企業としての組織力の強化も課題となりますが、第三次中期経営計画のスローガンである“チャレンジ、そして自立”を社員一人ひとりが意識し、「個」の力を強くしていくことが大切と考え、このスローガンを全社員で共有し、ビジョングループの力を最大限に発揮し、目標達成に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、これまで同様、ビジョングループの事業活動に対するご理解と、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念 「愛」

妊娠、出産、子育て、そして介護を通して、

手助けを必要とするすべての人々に、

「愛」を具体的な商品やソフトサービスの形にして提供する

トップインタビュー

GLOBAL Companyへの飛躍 ～チャレンジ、そして自立～ 第三次中期経営計画に沿って、具体的な施策が着々と実現しています！

Q 第2四半期累計期間の業績の概況についてお聞かせください。

第2四半期累計期間(第53期)の業績は、前年同期に比べ、若干の減収となりましたが、営業利益、経常利益では増益を達成することができました。

「GLOBAL Companyへの飛躍～チャレンジ、そして自立～」をテーマに掲げる「第三次中期経営計画」(平成21年1月期～平成23年1月期)の2年目を迎え、ほぼ計画に沿った形で重点課題への積極的な取り組みを実行いたしました。

特に、海外事業は、引き続きビジョングループ成長の牽引役として、経営資源を重点的に投入し、ブランドロイヤリティの強化・浸透を図りながら、中国、北米をはじめとする各市場において、積極的に事業を推進いたしました。

国内事業は、既存事業の生産性・収益性の改善に注力するとともに、老化予防用品新ブランド「リクーブ」の育成に積極的に取り組みました。

その結果、第2四半期累計期間の売上高は、262億58百万円(前年同期比1.5%減)となり、利益面におきましては、原価率の改善、販売費及び一般管理費の抑制、為替レートの円安推移等もあり、経常利益21億80百万円(前年同期比3.6%増)となりました。なお、取引先の民事再生手続開始の申立てに伴う貸倒引当金繰入額3億80百万円の特異損失計上により、四半期純利益は13億7百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

Q 第三次中期経営計画、2年目の進捗状況についてお聞かせください。

順調に推移した前期と同様に、今期も第三次中期経営計画最終年度(平成23年1月期)での目標達成を視野に、ほぼ計画どおりの順調な進捗となっています。特に、今期

は、最終年度である来期の大きな目標の達成を期して、“仕込みの年”と位置づけて施策に取り組んでおります。

海外での具体例としましては、昨年1月より稼働の中国上海のPIGEON MANUFACTURING(SHANGHAI) CO.,LTD.での生産品目が増えたほか、同社工場の更なる生産体制整備に向けた2期工事も計画通り進捗しております。また、タイの製造拠点の工場拡張も順調に進んでおります。

Q 成長著しい中国を始め、米国、BRICsなど海外事業の現状と展望についてお聞かせください。

当事業におきましては、世界的な景気後退の影響が懸念されましたが、グループの成長ドライバーとして、引き続き経営資源を重点的に投入した結果、地域別売上実績では、中国、アメリカを中心に順調に進展しています。生後24ヶ月の赤ちゃんの成長過程が全世界共通であることにより、日本国内で確立したビジネスモデルを国際的に水平展開できていることが海外事業成功の要因のひとつです。

中国市場については、進出のタイミング、中国経済の急拡大、高品質を背景とする安定した価格による対面販売の徹底、取扱い店舗数及びビジョンコーナー設置店舗数の拡大などにより順調に事業を拡大してきました。当期においては、中国衛生部との共同プロジェクトとして全国主要病院に「母乳育児相談室」を開設し、ブランド力強化にも一層の注力をしています。また、平成28年1月期には200億円の売上規模に事業が拡大することを想定し、江蘇省常州市に新工場を建設することも決定しました。1,500万人を超える出生数、高い経済成長を考えると、将来の中国事業は400億円規模の可能性を持っていると考えています。

金融危機の震源となった米国市場も現地通貨ベースでは順調に成長しており、300万人を超える出生数や人口増加を



背景に、引き続き新製品の導入等により事業の拡大が見込まれます。米国の子会社ランシノ社では、イギリス、ドイツに次いでトルコにも営業拠点を開設し、欧州市場の開拓にも積極的に取り組んでいます。

さらに、新たに販売子会社の設置を決定したインド(年内に設立予定)、代理店契約を締結したロシア、市場調査に着手したブラジルを含め、BRICsのマーケットは人口も多く、今後、大いに期待できる地域です。

Q Mamas&Papas社(英国)商品の日本国内における独占販売契約締結と国内販売チャネルの多様化についてお聞かせください。

ピジョングループは、「第三次中期経営計画」で国内既存事業の再強化と新規事業の育成を掲げており、新たな市場機会の創出が課題となっていますが、英国Mamas&Papas社の商品の日本国内における、独占販売契約を6月に締結いたしました。まず、カタログ・インターネット通信販売から事業を開始いたします。

実は、この話は、事業部から提案として上がってきた案件が成就したケースであり、販売チャネルの中で最も伸びており、将来ピジョン商品がどこで販売されているかを考えた時、有望なインターネット通販の活用を社員が自主的に形にしたものです。「GLOBAL Companyへの飛躍〜チャレンジ、そして自立〜」をテーマとする「第三次中期経営計画」の着実な成果のひとつだと思っています。

Q 老化予防新ブランドである「リクープ」ブランドの強化策についてお聞かせください。

平成19年8月に新しく立ち上げました老化予防新ブランド「リクープ」に関しましては、ブランド認知を高める活動を積極的に行っております。このたびブランドイメージキャラクターとして女優の香山美子さんを起用いたしました。既に「トークショー」、「商品紹介動画配信」等を展開しております。今後におきましても、イベント、ポスター、専用カタログ等、幅広く展

開してまいります。また、専用の売り場であるリクープコーナーの設置につきましては、現在約200箇所となっています。商品展開に関しましては、機能性ソックスである「リクープ歩行サポートソックス」、ソールとインソール両面の構造により衰えた身体機能や運動能力をサポートする機能性シューズである「リクープ歩行サポートシューズ」等を新発売しております。

今後におきましても、スピードをあげての商品展開、および、新規販売チャネルの獲得に取り組んでまいります。

Q ピジョングループの成長のカギを握る「研究開発」についてお聞かせください。

私は、かねてより、“ピジョングループの事業展開の核となるコア・コンピタンスは「研究開発」にある”と考えております。私どもは、赤ちゃんの成長のメカニズム、高齢者の老化のメカニズム等に関する研究を行っており、その中から浮かび上がる“お困りごと”を解消していくことを目指しております。

人間そのものを研究しているため長期的にみてやることはたくさんあります。これは幸せなことだと思っています。これからもモノづくりへのこだわりを持ちピジョンらしい商品を作り続けてまいります。

Q 引き続き増配を果たし、株主還元の充実に努めておられますが、今後の基本方針を、改めてお聞かせください。

推進中の「第三次中期経営計画」の最終年度である第54期の目標水準は「連結総還元性向50%」としております。今期の株式配当金は、中間配当32円とさせていただき、通期では64円を予定しております。

そして、基本的な考え方として、財務基盤の安定を図りつつ、ピジョングループの成長のために必要な投資は積極的に行うとともに、株式配当金の実施につきましては、株主の皆様への還元をより拡充させていきたいと考えております。

Q 株主・投資家の皆様にメッセージをお願いいたします。

私どもは、株主様との信頼関係を何よりも大切にしたいと考えており、そのためにはコミュニケーションが第一と考えております。新しい成長軌道に乗り、急速に変革が進みつつあるピジョングループの姿をより正確に、タイムリーに株主の皆様にお伝えするため、報告書のサイズ、記載内容につきまして刷新してまいりました。

私どもピジョングループは、引き続き、中期経営計画に沿った施策の推進により、“常に成長するピジョングループ”というイメージを大切に、業績を積み上げるべく努力してまいります。

最後に、株主・投資家の皆様には、引き続き温かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



■事業一覧

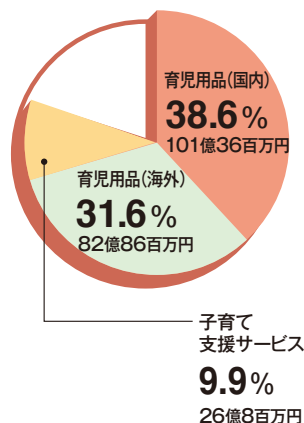
●セグメント別状況 連結売上高 262億58百万円

●事業区分

●売上高・売上比率

●業績の概要

育児事業



80.1%
210億32百万円

■国内育児用品事業

消費冷え込みに伴う流通在庫圧縮の影響も落ち着きをみせ、売上高は計画通り進捗いたしました。2月には母乳関連用品のラインアップ拡充商品である「母乳チルド密閉キャップ」3月に「虫くるりんシートタイプ」と「虫くるりん布用ミストタイプ」を新発売しました。加えて、ブランド力強化を目的にダイレクト・コミュニケーションの一環としての「マタニティ・イベント」は、合計で1,300名を超える方のご参加をいただき、クチコミ コミュニティサイトである「ピジョンインフォ」の会員数も順調に新規加入を獲得しております。また、新たな市場機会の創出として、6月にMamas&Papas社(英国)商品の日本国内における独占販売契約を締結し、来年2月の通信販売カタログ発刊に向け準備を進めてまいります。

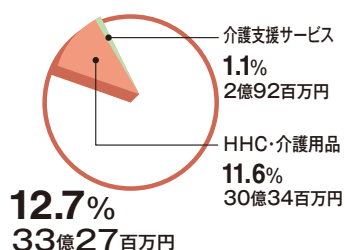
■海外事業

世界的な景気後退の影響が懸念されましたが、若干流通在庫圧縮の影響をうけたものの、地域別売上実績は、中国、アメリカを中心として現地通貨ベースで前年同期実績を上回っております。中国では「母乳育児推進及び母乳授乳率を高める政策」のもと、同国衛生部と連結子会社PIGEON(SHANGHAI) CO.,LTD.が共同プロジェクトとして全国主要病院に「ピジョン母乳育児相談室」を開設しました。また、昨年1月に本格的な稼働を始めた連結子会社PIGEON MANUFACTURING(SHANGHAI) CO.,LTD.の工場は、洗剤、スキンケア商品の量産が順調に進捗しており、更なる生産体制整備のための二期工事も計画通り進捗しております。アメリカでは、母乳関連商品のライン拡充、病院向け販路の獲得による事業強化を目的とし、連結子会社LANSINOH LABORATORIES,INC.が本年1月に、Soothiesブランドの営業権を取得しております。

■子育て支援サービス事業

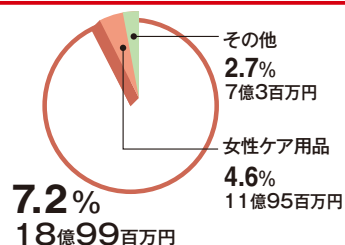
引き続き事業所内保育施設の運営受託をはじめとする営業活動を行っております。4月に5箇所の新規運営受託を開始しており、また、既存の保育施設におきましても順調に園児数が増加しております。以上の結果、育児事業の売上高は210億32百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

ヘルスケア事業



老化予防新ブランド「リクープ」は、ブランドイメージキャラクターとして起用した女優の香山美子さんによるトークショー・商品紹介動画配信等を行っており、今後も、イベント、ポスター、専用カタログ等、幅広く展開してまいります。また、専用の売場であるリクープコーナーは、約200箇所となっております。商品展開では、発売開始以来ご好評をいただいております「負担軽減サポーター」のシリーズ拡充商品である「リクープ負担軽減サポーター 手首」「リクープ負担軽減サポーター ひじ」「リクープ負担軽減サポーター 姿勢すっきり」に加え、「リクープ歩行サポートソックス」(機能性ソックス)、「リクープ歩行サポートシューズ」(機能性シューズ)等を新発売しております。引き続き、国内既存事業の再強化と新規事業の育成に努めます。以上の結果、売上高は33億27百万円(前年同期比1.7%増)となりました。

その他事業



商品展開として、妊娠・授乳期等の栄養補助食品であるサプリメントのラインアップ拡充商品「かんおいしい 葉酸タブレット」を新発売しておりますが、消費冷え込みの影響を受け、マタニティ向けインナーウェアを販売する連結子会社ピジョンウィル株式会社の売上高が減少し、前年実績に届きませんでした。

以上の結果、売上高は18億99百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

●取扱商品／サービス

●授乳関連用品

哺乳びん
乳首
哺乳びん用洗剤
哺乳びん消毒剤
哺乳びんケース
哺乳びん洗浄用品
母乳パッド
母乳バック
さく乳器



●離乳関連用品

マグマグ
調理用品
ベビー食器・食具
エプロン
ベビーフード
ベビー飲料



●介護用品・老化予防用品

大人用紙おむつ	防水シート	消臭用品
尿とりパッド	おしりふき	食器・食具
快適パッド	からだふき	食事用エプロン
おむつカバー	尿器	口腔衛生用品
吸収パンツ	シャンプー	歩行補助器
快適パンツ	清拭料	介護用ベッド

●女性ケア用品

サプリメント
マタニティ
インナーウェア



● スキンケア用品

ソープ
シャンプー
オイル
ローション
沐浴料
UVケア
パウダー
おしりナップ
ウェットティッシュ



● その他ベビー関連用品

綿棒
つめきり
ヘアケア
体温計
はな吸い器
クールまくら
ベビー医薬品
乳歯ブラシ
歯みがき
温湿度計
湯温計
セーフティグッズ
おしゃぶり
トイ
ベビースシューズ



● 子育て支援サービス

保育サービス
事業所内保育
運営受託
託児
ベビーシッター
サービス
幼児教育サービス



車椅子
寝巻
サプリメント
ステッキ
シューズ



● 介護支援サービス



栃木県下において事業展開



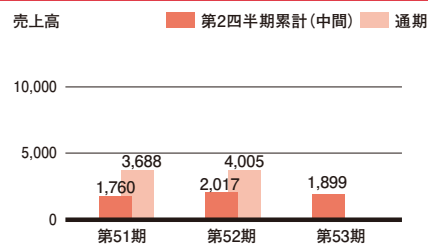
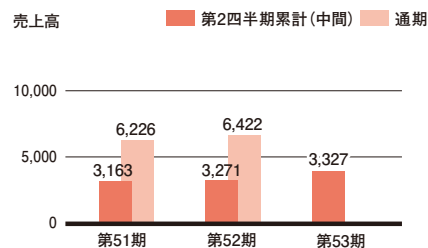
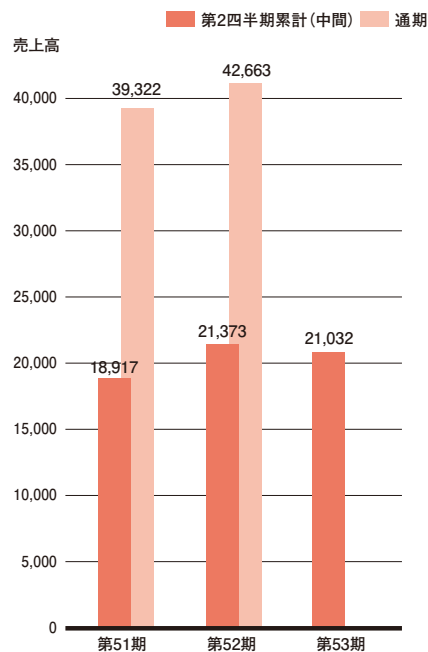
● その他



一般用ウェットティッシュ、その他

● 売上高の推移

(百万円)



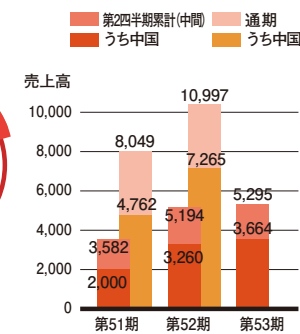
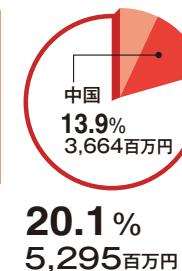
● 地域区分

● 売上高・売上比率

● 売上高の推移 (百万円)

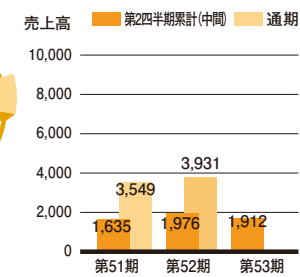
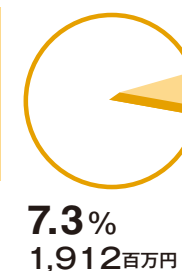
東アジア

中国(含香港)
韓国
シンガポール他



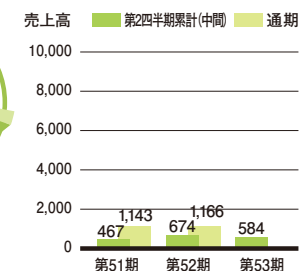
北米

アメリカ
カナダ 他



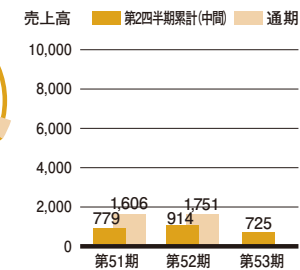
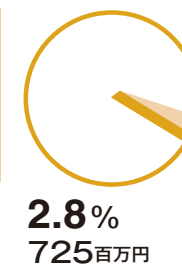
中近東

アラブ首長国
連邦 他



その他

ヨーロッパ
オセアニア
中南米 他



わたしたちは、「愛」を具体的な商品やソフトサービスの形にして提供し続けてまいります! 妊娠、出産、子育てから介護まで、常に人々の幸せなライフサイクルの実現を目指して…

事業区分

その他事業

育児事業

ソフトサービスの展開

●マタニティ支援

強みと戦略

- ダイレクト・コミュニケーションの徹底により、市場における競争優位性を高め、ブランドロイヤリティの向上を図ります。
- ダイレクト・コミュニケーションの一環として「マタニティ・イベント」の開催により、プレママ・プレパパの仲間づくり、親睦を深める活動を行うことで、妊娠中の不安や悩みなどを解決する場を提供していきます。



当社主催のプレママ・イベント

●子育て支援サービス

強みと戦略

- ビジョングループの子育て支援事業は、国内トップの規模となっており、展開する事業は、認可・認証保育園、事業所内保育施設の運営受託、英語を使ったカリキュラム等による幼児教育施設「キッズワールド」の運営、ベビーシッターの養成およびサービスの提供、託児ルールの運営等多岐に亘っています。
- 保育士等の質を高めるために、社内教育体制として「ビジョン・ハートナー・オープンカレッジ」を整備し開講しており、「赤ちゃんのことを一番知っている」ビジョングループならではの保育を目指しています。



事業所内保育施設

平成21年7月末現在施設数：保育施設 8、運営受託保育施設数 143、キッズワールド 21、その他託児ルーム 6

商品の展開

●女性ケア用品、その他用品

強みと戦略

- 妊娠・出産・育児期の栄養補助食品であるサプリメントのラインアップを拡充し、同時期の栄養の重要性についての情報提供とともに拡大を図ります。
- マタニティ用品の製造販売を行う連結子会社ビジョンウィル株式会社において、長年の妊産婦研究を通して開発された商品のもと、業容拡大を目指します。
- 中国における産前産後のママ向け化粧品等の販売を推進します。



ビジョンウィル商品

●育児用品

強みと戦略

- ビジョングループの研究開発は、赤ちゃんの幸せを願い、平和で豊かな社会であって欲しいという強い思いをもとに行われ、経営理念の「愛」をかたちにするために、「妊娠中の女性」「育児をする女性」のお困りごと、お悩みやご意見に耳を傾け商品開発をしています。
- 当社設立以来50年を超える哺乳研究を始めとする乳幼児の成長発達研究をもとに、その研究開発を深耕していくことにより、商品を生み出しています。赤ちゃんの成長発達のメカニズムは全世界共通であるため、日本国内のみならず、全世界の赤ちゃんに商品を提供することが可能です。
- ビジョングループは日本国内において出生数が減少する中でも業績を拡大するために、より多くの生活者の方にビジョンを知っていただく取り組みとして「ダイレクト・コミュニケーション」を行っています。ホームページによる情報提供、イベントの開催、テレビミニ番組の提供等を通して、ビジョンブランドの認知を高め、マーケットでの存在感を高め、競争優位性を高めてまいります。



中央研究所(茨城県つくばみらい市)

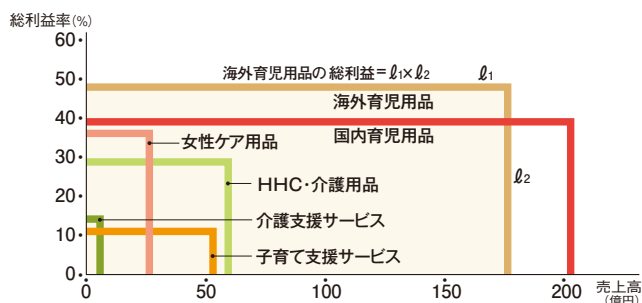
ライフサイクル

妊娠

出産

子育て

■ ビジョングループの収益源泉と事業ポートフォリオ (第52期実績ベース)



左のグラフはビジョングループの収益の源泉としての事業ポートフォリオをグラフで表しています。タテ軸が総利益率で、各事業の収益性を示しています。ヨコ軸が売上高で、各事業の規模を示しています。それぞれの面積が総利益の大きさの割合を示しており、海外育児用品が規模と収益性を兼ね備えたビジョングループの成長のエンジンであることや、国内育児用品がグループの中核事業として規模と収益性のバランスがとれていることが分かります。

経営理念

「愛」

具現化

妊娠、出産、子育て、そして介護を通して、
手助けを必要とするすべての人々に、
『愛』を具体的な商品やソフトサービスの形にして提供する

ヘルスケア事業

●老老予防支援

強みと戦略

●高齢者の方に「いつでも自分らしく」輝いていただくための情報提供イベント等を開催しています。また、老老予防用品ブランドである「リクープ」の小冊子を年2回発行し、商品紹介だけでなく、毎日楽しく過ごすためのお役立ち情報を提供しています。



香山美子さんトークショー

●介護支援サービス

強みと戦略

●ビジョン真中株式会社により展開している「在宅介護支援サービス」では訪問介護サービス、訪問入浴介護サービス、福祉用具貸与販売等を栃木県下のみで提供しています。



●老老予防用品

強みと戦略

●老老予防用品は、平成19年8月に新たに立ち上げた「リクープ」ブランドにより展開しています。高齢者人口の増加に伴い、市場規模の拡大が予想されるため、加齢に伴う「お困りごと」を解決する商品の開発を進め、スピードを上げて商品展開の拡大に取り組んでまいります。



●介護用品

強みと戦略

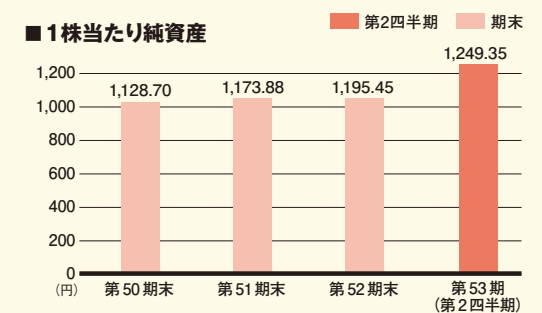
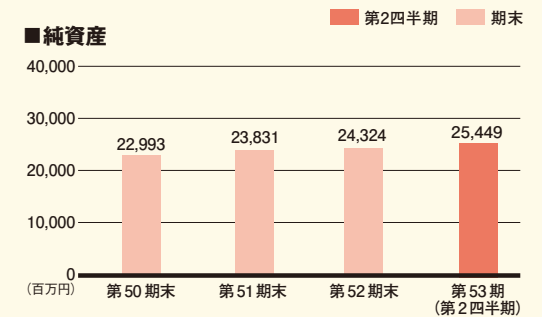
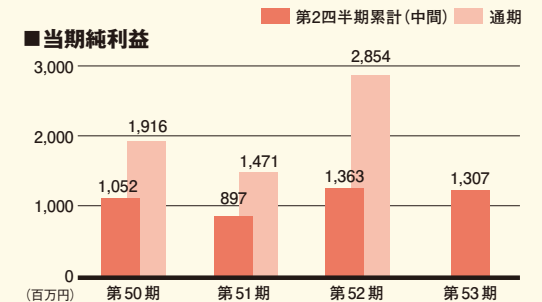
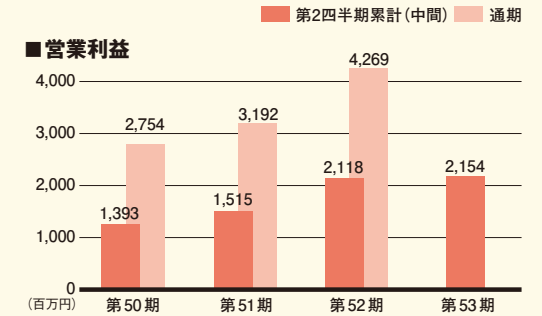
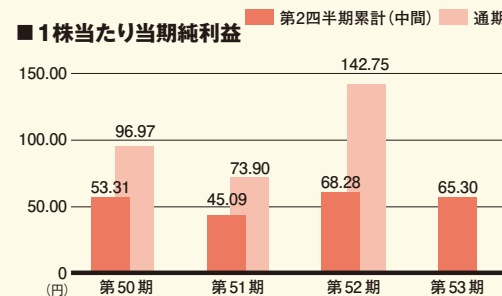
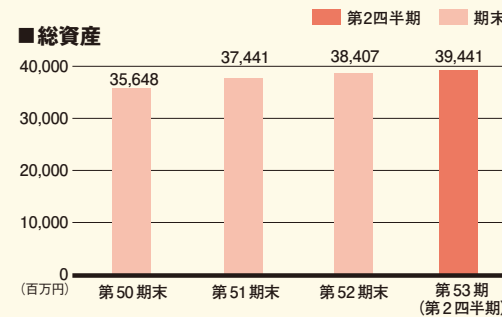
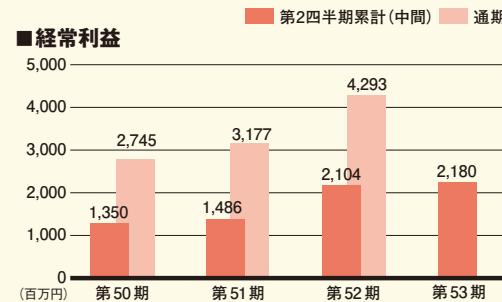
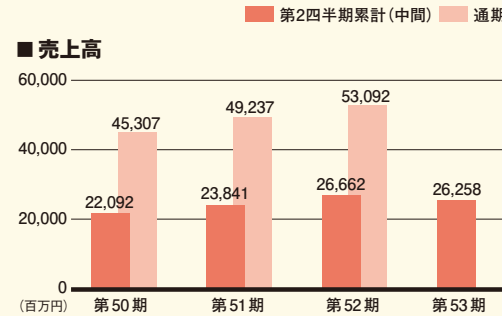
●介護用品は昭和50年より事業を開始し、現在では「ハビナース」ブランドにより展開しています。排泄、入浴、衛生、食事、寝具、移動等多くのカテゴリで商品展開をしており、小売店向け、施設向けのそれぞれの販売ルートを持っています。



老老予防

介護

■連結財務ハイライト



■連結財務諸表

※百万円未満は切り捨てて表示しています。

■連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第53期 第2四半期末 平成21年7月31日現在	第52期 中間期末 平成20年7月31日現在	第52期末 平成21年1月31日現在
資産の部			
流動資産	22,471	21,782	21,630
固定資産	16,969	17,545	16,777
資産合計	39,441	39,327	38,407
負債の部			
流動負債	11,338	12,887	11,243
固定負債	2,653	1,912	2,839
負債合計	13,991	14,799	14,083
純資産の部			
株主資本	26,087	24,397	25,421
資本金	5,199	5,199	5,199
資本剰余金	5,180	5,180	5,180
利益剰余金	16,151	14,454	15,484
自己株式	△444	△437	△442
評価・換算差額等	△1,081	△259	△1,493
その他有価証券評価差額金	13	△32	△0
為替換算調整勘定	△1,094	△227	△1,493
少数株主持分	443	389	396
純資産合計	25,449	24,528	24,324
負債純資産合計	39,441	39,327	38,407
1株当たり純資産額(円)	1,249.35	1,205.83	1,195.45

■連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第53期 平成21年2月1日から 平成21年7月31日まで	第2四半期累計 平成20年2月1日から 平成20年7月31日まで	第52期中間期 平成20年2月1日から 平成20年7月31日まで	第52期 平成20年2月1日から 平成21年1月31日まで
売上高	26,258	26,662	53,092	
売上原価	16,112	16,583	32,927	
販売費及び一般管理費	7,991	7,961	15,895	
営業利益	2,154	2,118	4,269	
営業外収益	212	169	406	
営業外費用	186	182	381	
経常利益	2,180	2,104	4,293	
特別利益	4	2	16	
特別損失	403	124	289	
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,781	1,982	4,020	
法人税、住民税及び事業税	610	607	1,041	
法人税等調整額	△197	△46	△26	
少数株主利益	61	57	150	
四半期(当期)純利益	1,307	1,363	2,854	
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	65.30	68.28	142.75	

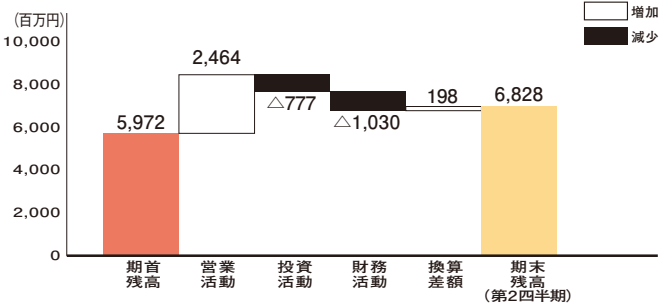
※当連結会計年度より、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。そのため、前中間期の連結貸借対照表、連結損益計算書と連結キャッシュ・フロー計算書は参考資料となります。

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第53期 平成21年2月1日から 平成21年7月31日まで	第2四半期累計 平成20年2月1日から 平成20年7月31日まで	第52期中間期 平成20年2月1日から 平成20年7月31日まで	第52期 平成20年2月1日から 平成21年1月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,464	473	4,206	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△777	△289	△1,279	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,030	381	△110	
現金及び現金同等物に係る換算差額	198	△135	△618	
現金及び現金同等物の増減額	855	430	2,197	
現金及び現金同等物の期首残高	5,972	3,775	3,775	
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	6,828	4,206	5,972	

■連結キャッシュ・フロー推移グラフ



POINT-1

■連結貸借対照表

〔資産〕

総資産は、前期末に比べ10億33百万円増加の394億41百万円となりました。主な要因は、前期末と比べて、流動資産では、現金及び預金が8億55百万円増加、受取手形及び売掛金が8億23百万円減少、商品及び製品が3億26百万円増加し、固定資産では、のれんが1億31百万円減少したこと等によるものです。

〔負債〕

負債は、前期末に比べ91百万円減少の139億91百万円となりました。主な要因は、前期末と比べて、流動負債では短期借入金が2億11百万円減少、支払手形及び買掛金が3億85百万円増加し、固定負債では、長期借入金が94百万円減少したこと等によるものです。

〔純資産〕

純資産は、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加などにより前期末に比べ11億24百万円増加の254億49百万円となりました。

POINT-2

■連結キャッシュ・フロー計算書

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動による現金及び現金同等物(以下「資金」という)の増加は、24億64百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が17億81百万円、減価償却費が7億5百万円、売上債権の減少額が10億39百万円となったものの、たな卸資産の増加額が4億70百万円となったこと等によるものです。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動による資金の減少は、7億77百万円となりました。これは、増加要因として敷金の回収による収入が26百万円等あったものの、有形固定資産の取得による支出が6億96百万円、無形固定資産の取得による支出が1億10百万円となったこと等によるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動による資金の減少は、10億30百万円となりました。これは、短期の借入及び返済による資金の減少が2億27百万円、長期借入金の返済が1億11百万円、配当金の支払額が6億39百万円となったこと等によるものです。

トピックス

●中国における生産体制増強

中国の生産体制は現在、PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO.,LTD.を拠点とし、シリコン乳首の製造(哺乳瓶の製造は平成22年より開始予定)、洗剤およびトイレタリー製品の製造、商品の組み立て加工を行っています。このたび、第二の生産拠点として、平成23年1月操業開始予定で、PIGEON INDUSTRIES (CHANGZHOU) CO., LTD.を設立し、生産体制整備を図ってまいります。



上海工場2期工事外観イメージ

中国市場での販売は順調に拡大しており、平成23年1月期には100億円を上回り、平成28年1月期には200億円の売上規模を予想しております。中国では引き続き世帯所得の上昇が見込まれ、哺乳瓶・乳首・トイレタリーなどの既存商品の販売拡大に加え、今後は先進国型商品である母乳パットなどの消耗品市場の急激な拡大が予想されます。このような市場の変化に対応した商品の安定供給と、一層のコストダウンに向けて、中国国内における調達・生産体制整備、内製化率の向上を進めております。

●Mamas&Papas 社の日本における独占販売権取得

このたび、Mamas&Papas 社(英国)商品の日本国内における独占販売権を取得しました。これにより、従来のビジョンブランドによる研究開発をベースとした高品質、高機能な育児用品・マタニティ用品の提供に加え、ライフスタイルの変化に合ったファッション性の高い育児用品・マタニティ用品への展開により、新たな市場へ事業を拡大いたします。



Mamas&Papas (英国)店舗

●「リクーブ」のイメージキャラクターに香山美子さんを起用しました

女優の香山美子(かやま よしこ)さん(写真)を4月より、高齢者が「今日も明日も自分らしく」生活することをトータルにサポートするブランド、「リクーブ」のイメージキャラクターに起用いたしました。香山美子さんは、女優として活躍される一方、素敵に年を重ねていらっしゃる女性として、60-70代の女性から圧倒的な支持を得ています。今後は、香山美子さんの魅力を活かした様々なプロモーションを展開してまいります。



第1弾として、5月に都内で、高齢者向けリクーブイベント「知って得する!快適な歩き方のヒューマンウォーキングセミナー」を開催しました。

第1部のトークショーは、ご自身もウォーキングを愉しんでいらっしゃるということで、姿勢が良く、歩き方もきれいで、健康はつつつという姿でした。

ウォーキングアドバイザーの萱沼文子先生と香山美子さんによる「快適な歩き方のための健康Q&A」に会場の皆さんは興味津々でした。

第2部の実践編では、芝公園の増上寺を、参加者全員でウォーキングしました。「はき心地の良い、自分に合った靴を」、「足だけでなく身体の全部を意識しながら」など歩きながらのアドバイスはとても参考になります。皆さんとても心地よい汗を流して過ごされました。



新商品紹介

●ビジョン「かんでおいしい 葉酸タブレット」

妊娠期・授乳期のママに不足しがちな栄養素を補給するサプリメント「かんでおいしい 葉酸タブレット」を2月より全国で新発売いたしました。「かんでおいしい 葉酸タブレット」は、葉酸、鉄分、ビタミンB6、B12を配合しており、1日2粒で、妊娠に気がつく前から妊娠・授乳期を通して必要な栄養素がしっかり摂れます。また、水などで飲むタイプの錠剤ではなく、かんで食べられるタブレットタイプにしたことで、おいしく手軽に続けられます。またタブレットの味は、毎日楽しく続けられるように、すっきりさわやかな3つの味(青りんご、グレープフルーツ、ヨーグルト)で一袋に入っています。



●リクーブ「歩行サポートシューズ」

歩行に“つまずく”や“ゆらぐ”などの不安を感じるようになってきた女性高齢者向けシューズ、リクーブ「歩行サポートシューズ」を4月より全国で発売いたしました。リクーブ「歩行サポートシューズ」は、ソールとインソール両面の構造により衰えた身体機能や運動能力をサポートし、“つまずきにくい”“安定したきれいな歩き方ができる”ための機能を備えたシューズです。

「毎日をいきいきと暮らしたい」と思う女性高齢者に対して、様々な悩みを改善する商品を、「リクーブ」ブランドとして展開していく中で、歩行に少し不安を覚えるようになった方向けに、お出かけ用に軽くて履き心地の良いシューズを誕生させました。





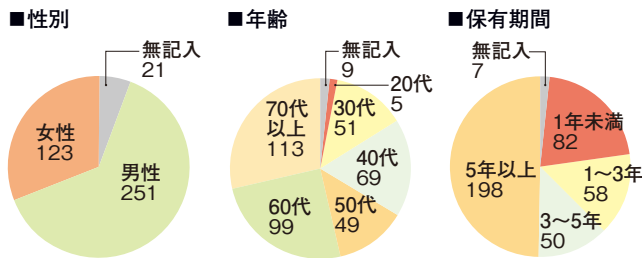
株主広場

<株主アンケート>結果のご報告

本年4月に第52期期末報告書のご送付とともに実施いたしました<株主アンケート>につきましては、半年前の前回は上回る395名の株主様からご回答ならびに貴重なご意見をお寄せいただきました。

皆様からいただきましたご意見は、引き続き、今後の当社グループの経営方針やIR活動の参考にさせていただきたいと考えております。アンケート結果の概要は下記のとおりでございます。

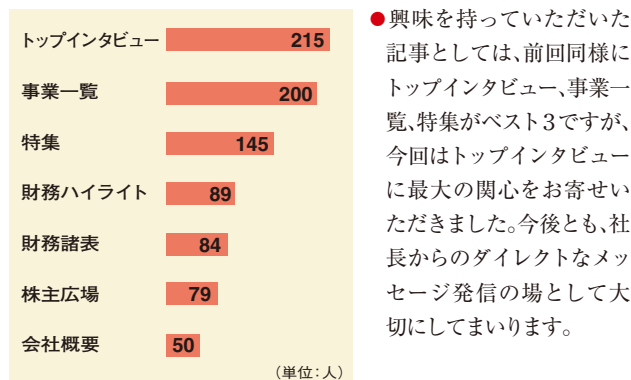
[1] 回答いただいた株主様の属性 (単位:人)



[2] 報告書の「分かりやすさ」についてのご感想

- 今回も「分かりやすい」とのご感想を回答者の80%以上の方からいただき、報告書の内容の充実を目指しております私どもには何よりの励みとなりました。
- 2%弱ではございますが、「分かりにくい」とのご感想もございますので、より分かりやすい報告書をお届けできるよう、なお一層努力してまいります。

[3] 株主様に興味を持ってお読みいただいたもの (掲載ページ順)



- 興味を持っていたいただいた記事としては、前回同様にトップインタビュー、事業一覧、特集がベスト3ですが、今回はトップインタビューに最大の関心をお寄せいただきました。今後とも、社長からのダイレクトなメッセージ発信の場として大切にしてまいります。

[4] 今後、報告書に期待する点、あるいは要望したい事項

- 今後も成長戦略を分かりやすく説明してください。
- 他の会社のものから見ると読みやすく分かりやすい報告書だと思います。より充実させてください。
- 新商品等の個別の紹介、説明を報告書に取り入れてほしい。
- ビジョンヒット商品紹介(ランキング)見てみたいです。
- 特集企画は続けて欲しい。
- 世の中、100年に一度の不景気といわれていますが、トップインタビューを読んで安心しました。
- 大変見やすく構成されていて、分量的にもすべてに目を通しやすい報告書だと思います。

[5] 当社(グループ)に対する主なご意見、ご要望

- 子供たちのために、安全・安心できるものをつくるようにがんばってください。
- 今後とも、「愛」を育てるような企業であり続けてください。
- 中国など重点市場における地位を確固たるものにするためのスピーディーな戦略づくりを希望します。
- 不況の中頑張っている内容で安心していきます。もう20年近く株主です。これからも頑張ってください。
- 育児中は育児関連用品のお世話になり高品質にとても感激したものです。自分自身や、回りの者も高齢になってくるとヘルスケアに関心が移ってきました。
- 3人の子育ての中で御社の製品には大変お世話になりました。これから子供たちに優しい安心で安全な製品を送り出してください。

[6] いただきました皆様のご意見に対する当社(グループ)の施策対応および今後の対応予定について

- リクープの活動をインフォメーションページのトピックスに取り上げました。
- 新商品情報を掲載しました。
- 楽しみにお読みいただいている「特集企画」は、ビジョングループを分かりやすく説明するため、常に新しい視点からの編集を心がけてまいります。

<株主アンケート実施についてお願い>

左記にてご報告のとおり、前回のアンケートでも株主様より大変有意義なご意見を多数お寄せいただきました。そこで、今号でも引き続きアンケートを実施させていただくことといたしました。

つきましては、大変お手数ではございますが、同封いたしました「株主アンケートはがき」にご記入の上、ご投函くださいますようお願いいたします。(切手は不要です)

なお、アンケートの結果につきましては、平成22年4月にお届けする次号(第53期 期末報告書)においてご報告させていただく予定です。

アンケート内容

Q1 今回の報告書をご覧になってのご感想をお聞かせください。

1. 内容が分かりやすかった
2. 内容が分かりにくかった
3. どちらとも言えない

Q2 今回の報告書の記載内容のうち、特に興味を持ってお読みいただけたものを3つお選びください。

1. トップインタビュー
2. 事業一覧
3. 特集企画
4. 財務諸表
5. インフォメーション
6. 株主広場
7. 会社概要

Q3 あなた、またはご家族の方がビジョンの製品を利用したことがありますか(していますか)?

1. 大変よく利用した(している)
2. かなり利用した(している)
3. 時々利用した(している)
4. めったに利用しなかった
5. 利用したことがない

Q4 株式への投資判断の際、参考にする情報収集手段は何でしょうか?(複数回答可)

1. 報告書
2. 証券会社の担当者
3. インターネット(一般情報)
4. 当該企業のホームページ
5. 会社四季報・会社情報
6. 証券専門雑誌
7. 経済雑誌(東洋経済等)
8. 専門書籍
9. 証券専門新聞(日経含む)
10. 一般新聞(読売、朝日ほか)
11. その他

Q5 今後、報告書に期待したい点、あるいは、より内容の充実を望まれることをお書きください。

Q6 当社(グループ)に対するご意見、ご要望をお聞かせください。

■会社概要

- 設立年月日 昭和32年8月15日
- 事業内容 育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入ならびに保育事業
- 資本金 5,199,597千円
- 従業員数 866名（※正社員および契約社員の人数です）
- 本社 〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4番4号
TEL 03-3661-4200（代表）

■役員（平成21年10月1日現在）

- 取締役最高顧問 仲田 洋一
- 代表取締役会長 松村 誠一
- 代表取締役社長 大越 昭夫
- 専務取締役 佐久間 隆
（経営企画本部兼経理財務本部兼人事総務本部兼お客様相談室兼監査室担当）
- 常務取締役 太田 和比古
（国内ベビー・ママ事業本部兼HHC・介護事業本部兼子育て支援事業本部担当）
- 取締役 山下 茂（海外事業本部長）
- 取締役 甘利 和久（開発本部長兼ロジスティクス本部担当）
- 常勤監査役 大藪 克実
- 常勤監査役 田中 公義
- 監査役 西山 茂
- 監査役 出澤 秀二
- 執行役員 高坂 功（経営企画本部長）
- 執行役員 高島 康（経理財務本部長）
- 執行役員 板倉 正（人事総務本部長）
- 執行役員 湯田 博毅（国内ベビー・ママ事業本部長）
- 執行役員 倉知 康典（国内ベビー・ママ事業本部副本部長）
- 執行役員 岩本 忍（ロジスティクス本部長）
- 執行役員 北澤 憲政（海外事業本部副本部長）
- 執行役員 赤松 栄治（子育て支援事業本部長）
- 執行役員 石上 光志（HHC・介護事業本部長）

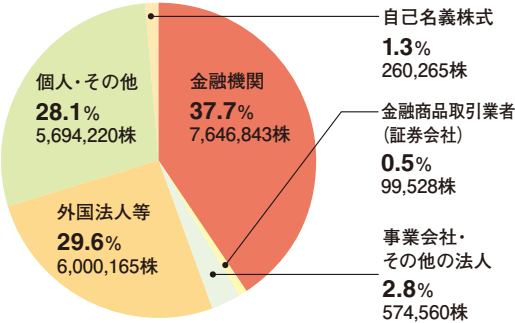
（注）監査役 西山 茂および出澤 秀二の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■株式の状況（平成21年7月31日現在）

- 発行可能株式総数 60,000,000株
- 発行済株式の総数 20,275,581株
- 株主数 6,245名
- 自己株式 260,265株

大株主（上位10名）	持株数(千株)	持株比率(%)
仲田洋一	3,083	15.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,496	12.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,316	11.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	822	4.06
ザチエースマンハッタンバンクエヌエイロンドン エスエルオムニバスアカウント	690	3.41
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	676	3.34
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	635	3.13
ビジョン社員持株会	339	1.67
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリフィデリティファンズ	300	1.48
エイチエスピーシーバンクピーエルシーアカウント セブンリフィデリティ	268	1.33

■株式分布状況（所有者別）



■主要事業所

- 事業所 茨城県稲敷郡阿見町
東京都中野区
- 物流センター 茨城県稲敷郡阿見町
茨城県常陸太田市
兵庫県神崎郡神河町
- 研究所 茨城県つくばみらい市
- 営業拠点 札幌・仙台・大宮・東京・金沢・名古屋・大阪・
広島・福岡

■次の15社を連結の対象にしています。

- ピジョンホームプロダクツ(株) ●ピジョンウィル(株)
- ピジョンハーツ(株) ●PHP兵庫(株) ●PHP茨城(株)
- ピジョンタヒラ(株) ●ピジョン真中(株)
- PIGEON SINGAPORE PTE.LTD.
- PIGEON (SHANGHAI) CO.,LTD.
- LANSINOH LABORATORIES,INC.
- PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO.,LTD.
- PIGEON LAND (SHANGHAI) CO.,LTD.
- SHANGHAI CHANGNING PIGEON LAND
EDUCATION TRAINING CENTER.
- PIGEON INDUSTRIES(THAILAND) CO.,LTD.
- THAI PIGEON CO.,LTD.

■次の2社について持分法を適用しています。

- P.T. PIGEON INDONESIA ●クラフレックス茨城(株)

株主メモ

証券コード	7956
事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
期末配当金受領 株主確定日	1月31日
中間配当金受領 株主確定日	7月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先 (お問合せ先) (郵便物送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料 平日9:00～17:00)
(ホームページ)	http://www.tr.mufig.jp/daikou/
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 http://www.pigeon.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子 公告によることができない場合は、日 本経済新聞に掲載して行います。

〈ご案内〉

● 株式に関する住所変更等のお問合せおよびお届出について

株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。

口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

● 特別口座について

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。

● 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 配当金計算書について

本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に「配当金領収証」により配当金をお受取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。



表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園の部」の発明協会会長賞並びに優秀賞を受賞された幼稚園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。

● インターネットホームページでもIR情報を掲載しています。



ビジョン トップページ

ビジョン トップページ

<http://www.pigeon.co.jp/>

IR情報トップページ

<http://www.pigeon.co.jp/ir/ir/index.html>



IR情報トップページ

将来予測に関する記述についての注意事項

本報告書の将来予測に関する記述および客観的事実以外の記述に関しましては当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レートなどにかかわる様々な要因により、記述されている事業予測とは異なる可能性があることをご承知おきください。



この報告書は環境保全のため、FSCミックス認証紙と、環境に優しい大豆油インキを使用
して印刷するとともに、針金を使わないエコ製本を採用しています。